



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鶴野 尚史 TEL 03-5843-0097
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 2021年9月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無（決算説明の動画配信を予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-------|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 2,322 | 26.4 | 144 | — | 153 | — | 102 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | 1,838 | △30.6 | △340 | — | △351 | — | △339 | — |

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 106百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △338百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | 11.34 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | △37.43 | — |

(注) 2020年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株あたり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2021年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 8,615 | 3,170 | 36.8 |
| 2020年12月期 | 8,905 | 3,127 | 35.1 |

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 3,170百万円 2020年12月期 3,127百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期 | — | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |
| 2021年12月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 2021年12月期（予想） | — | — | — | 6.00 | 11.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2021年8月13日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）の増配に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,134 | 12.8 | 170 | 6.2 | 124 | △20.9 | 68 | △27.9 | 7.50 |
| | ～5,234 | ～15.0 | ～270 | ～68.7 | ～224 | ～42.9 | ～137 | ～45.2 | ～15.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名） Nihonwasou Asia Pacific Holdings Pte.Ltd.、 除外 1社（社名）
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年12月期2Q | 9,134,000株 | 2020年12月期 | 9,134,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年12月期2Q | 68,400株 | 2020年12月期 | 68,400株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年12月期2Q | 9,065,600株 | 2020年12月期2Q | 9,065,600株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部地域において4月に3度目の緊急事態宣言が発出され、行動制限を課されることとなり極めて厳しい状況が継続しました。6月に主な地域での緊急事態宣言は解除されたものの再度感染者数が増加し、その後、東京都で4度目の緊急事態宣言が発出される事態となりました。国内においてワクチン接種が進み始めたことにより、感染拡大の収束、景気の持ち直しが期待されますが、変異型ウイルスの感染拡大の懸念等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社はお客様や取引先企業、スタッフの健康と安全を最優先に考え、スタッフの体調管理や手指の消毒、フェイスガードやマスクの着用、換気といった感染防止対策を徹底いたしました。

当第2四半期連結会計期間における業績面につきましては、上場15周年企画として、「創業地・福岡の食と職を巡る旅」、女性による女性のためのきものフォーラム「THE WOMEN'S LIFE」などを開催し、好評を博しました。当社恒例のイベントの中でも特に力を入れている全国16会場で行われた「縁の会」と東京が会場となる「遊々会」には約2千人が来場され、好調な結果となりました。また、シナジー効果もありグループ会社（ニチクレ株式会社及び株式会社はかた匠工芸）の業績も順調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における段階利益は黒字を確保することができました。

今後は当社の「教えて・伝えて・流通を促す」という従来のビジネスモデルのメインブランドに加えて、サブブランドの創造にも注力してまいります。サブブランドでは、これまでは対面で教え伝えていたものをオンラインも活用して、当社メインブランドよりも低年齢層となる20代から40代をターゲットとして市場や新規顧客を開拓し、販売へとつなげてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高2,322百万円（前年同四半期比26.4%増）、営業利益144百万円（前年同四半期は営業損失340百万円）、経常利益153百万円（前年同四半期は経常損失351百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益102百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失339百万円）となりました。

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が275百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は403百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が14百万円、投資その他の資産が20百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、8,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ519百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が555百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が186百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益102百万円及び剰余金の配当63百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.8%（前連結会計年度末は35.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,155百万円(前年同四半期は1,529百万円)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は154百万円(前年同四半期は209百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益153百万円、前受金の増加80百万円、ニチクレ株式会社(当社顧客向けショッピングクレジット事業)の割賦売掛金の減少33百万円、営業未収入金の増加52百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1百万円(前年同四半期は4百万円の使用)となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出1百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は432百万円(前年同四半期は396百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,053百万円、短期借入金の純減少額665百万円、配当金の支払額63百万円、長期借入れによる収入1,350百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期連結業績予想につきましては、2021年2月12日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

＜第2四半期の事業の概況等に関する社長のコメント＞

2021年12月期の第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により大都市圏を中心とする3度目の緊急事態宣言が発出されました。当社の取り組みとしては、引き続き可能な範囲内で時短営業を取り入れ、営業活動と感染拡大防止に取り組んだ次第であります。

2021年12月四半期連結業績推移

| | | 第1四半期 (1月～3月) | 第2四半期 (4月～6月) |
|--------------------|---------|------------------|------------------|
| 売上高 | 売上高 | 960,155千円 | 1,362,742千円 |
| | 前年同期比増減 | △247,110千円 | 731,994千円 |
| | 増減率 | △20.5% | 116.1% |
| 営業利益 又は営業損失 | 営業利益 | △84,716千円 | 229,601千円 |
| | 前年同期比増減 | △111,071千円 | 596,793千円 |
| | 増減率 | — | — |
| 経常利益 又は経常損失 | 経常利益 | △75,355千円 | 228,543千円 |
| | 前年同期比増減 | △90,123千円 | 595,130千円 |
| | 増減率 | — | — |
| 四半期純利益又は 四半期純損失 | 四半期純利益 | △68,622千円 | 171,437千円 |
| | 前年同期比増減 | △67,340千円 | 509,466千円 |
| | 増減率 | — | — |

上記の取り組みの結果が功を奏し、販売仲介における取扱金額は2020年12月期の上半期は2,241百万円、2021年12月期の上半期は3,279百万円でした。前年同期対比において、1,037百万円の増加となりました。営業利益においては2020年12月期の上半期は△340百万円でしたが、2021年12月期の上半期は144百万円でした。前年同期対比において、485百万円の増加となりました。最終的には、経常利益、四半期純利益共に黒字として着地し、昨年の実績を大きく上回ることができました。応援して下さった株主の皆様には、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

今回黒字着地に繋がった大きな要因は、ここ数年間で取り組んで参りました日本和装グループ関連会社とのシナジー強化にあると考えております。博多織の帯やきもの製造・販売をするはかた匠芸をはじめ、ショッピングクレジットを提供するニチクレ、品質の高いきもの縫製を担当する日本和裁技術院及び日本和装トレーディングなど、弊社グループは販売仲介だけでなく、お客様の和装に関わる1から10までのモノやコトのサービスを展開してきたことが2021年12月期の上半期の結果に表れたのだと確信しております。

また、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けてやむなく休業をすることになり、2020年12月期の上半期は赤字着地だけではなく、中間配当無配という決断に至りました。株主様には配当にて還元していくという会社の経営方針を改めて明確化し、株主優待の廃止も決定しました。昨年の背景を考慮し、足元の業績も順調であることから、2021年12月期の中間配当は配当予想1円から5円に増配することを決定しました。今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,631,186 | 2,355,599 |
| 営業未収入金 | 218,297 | 270,915 |
| 割賦売掛金 | 5,045,980 | 5,012,014 |
| たな卸資産 | 163,316 | 169,042 |
| その他 | 469,352 | 470,673 |
| 貸倒引当金 | △64,744 | △66,624 |
| 流動資産合計 | 8,463,388 | 8,211,620 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 184,416 | 169,776 |
| 無形固定資産 | 15,631 | 12,584 |
| 投資その他の資産 | 242,408 | 221,566 |
| 固定資産合計 | 442,456 | 403,927 |
| 資産合計 | 8,905,845 | 8,615,548 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 47,644 | 34,275 |
| 短期借入金 | 2,795,838 | 2,240,208 |
| 未払法人税等 | 50,812 | 48,350 |
| 前受金 | 340,251 | 420,483 |
| 営業預り金 | 21,240 | 36,546 |
| その他 | 493,433 | 449,519 |
| 流動負債合計 | 3,749,219 | 3,229,383 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,022,278 | 2,209,138 |
| その他 | 7,074 | 6,852 |
| 固定負債合計 | 2,029,352 | 2,215,990 |
| 負債合計 | 5,778,572 | 5,445,374 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 478,198 | 478,198 |
| 資本剰余金 | 292,211 | 292,211 |
| 利益剰余金 | 2,384,772 | 2,424,128 |
| 自己株式 | △22,629 | △22,629 |
| 株主資本合計 | 3,132,553 | 3,171,909 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △5,280 | △1,734 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,280 | △1,734 |
| 純資産合計 | 3,127,272 | 3,170,174 |
| 負債純資産合計 | 8,905,845 | 8,615,548 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,838,014 | 2,322,898 |
| 売上原価 | 271,098 | 226,606 |
| 売上総利益 | 1,566,915 | 2,096,291 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,907,752 | 1,951,406 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △340,836 | 144,884 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 36 | 21 |
| 助成金収入 | 5,000 | 29,488 |
| その他 | 2,898 | 2,777 |
| 営業外収益合計 | 7,935 | 32,287 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,058 | 13,965 |
| 支払手数料 | 8,115 | 9,858 |
| その他 | 743 | 159 |
| 営業外費用合計 | 18,917 | 23,983 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △351,818 | 153,188 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △351,818 | 153,188 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,988 | 36,066 |
| 法人税等調整額 | △25,495 | 14,306 |
| 法人税等合計 | △12,507 | 50,373 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △339,311 | 102,815 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △339,311 | 102,815 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △339,311 | 102,815 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 960 | 3,545 |
| その他の包括利益合計 | 960 | 3,545 |
| 四半期包括利益 | △338,350 | 106,360 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △338,350 | 106,360 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △351,818 | 153,188 |
| 減価償却費 | 31,174 | 18,140 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 2,607 | 1,880 |
| 受取利息 | △36 | △21 |
| 支払利息 | 10,058 | 13,965 |
| 助成金収入 | △5,000 | △29,488 |
| 営業未収入金の増減額(△は増加) | △77,386 | △52,617 |
| 割賦売掛金の増減額(△は増加) | 394,689 | 33,965 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △24,272 | △5,726 |
| 営業未払金の増減額(△は減少) | 687 | △13,368 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △55,027 | 80,232 |
| 営業預り金の増減額(△は減少) | 55,510 | 15,305 |
| 割賦利益繰延の増減額(△は減少) | △9,304 | △10,932 |
| その他 | △73,923 | △28,763 |
| 小計 | △102,041 | 175,759 |
| 利息の受取額 | 36 | 21 |
| 利息の支払額 | △13,262 | △13,800 |
| 助成金の受取額 | 5,000 | 25,056 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △99,594 | △32,275 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △209,861 | 154,762 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,577 | 22 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,147 | △467 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △2,854 | △1,235 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,079 | 140 |
| その他 | 2 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,497 | △1,540 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △500,000 | △665,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,980,000 | 1,350,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,787,744 | △1,053,770 |
| 配当金の支払額 | △81,590 | △63,459 |
| その他 | △6,883 | △214 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △396,217 | △432,443 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 615 | 3,634 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △609,960 | △275,586 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,139,547 | 2,431,130 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,529,586 | 2,155,544 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Nihonwasou Asia Pacific Holdings Pte.Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響につきましては、ワクチン接種が開始され、収束に向けての効果が期待されるものの、国内及び世界的にその収束時期は未だ見通しがたらず、依然として収束時期等の予測が困難な状況が継続しています。当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響が当連結会計年度末にかけて収束していくとの仮定のもと、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、今後の経過によっては実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。なお、この仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。